

# 美しい 県土づくりNEWS



2010年  
11月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌 76号  
平成 22年 11月 9日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 「いわて社会資本フェスティバル 2010」を開催
- 6 「つなげよう！高速道路ネットワーク」岩手県総決起大会を開催
- 8 遠野第二ダム試験湛水終了
- 9 「広い歩道 大実験！」を実施
- 10 主要地方道盛岡和賀線笹間バイパスが10月28日に部分供用
- 11 「100km歩いてまた海を見よう！」の皆さんが築川道路の工事現場を歩く
- 12 津付ダム付替国道1号橋の現場見学会を開催
- 13 いわて公共建築フォーラム 2010 開催のお知らせ
- 14 県民ゴルフ場 11月からの特別料金のお知らせ
- 15 第7回土木合同セミナーのお知らせ
- 16 明日を担う若手職員を紹介します(建築住宅課 及川技師)

黄金の國、  
いわて。

希望郷いわて

## 遠野第二ダム試験湛水終了！！ ～ 来春3月の完成を予定 ～

県が遠野市で平成2年度から整備を進めてきた遠野第二ダムでは、平成22年10月13日(水)から試験湛水を開始し、10月27日(水)12時に洪水時最高水位(サーチャージ水位)に到達、11月1日(月)に無事試験湛水を終了しました。今後は、来春3月の完成を目指して残る工事を進めていきます。

遠野第二ダムの堤体下流から見た越流状況



# 「いわて社会資本フェスティバル 2010」を開催しました!

～ 見よう!学ぼう!感じよう!いわての社会資本整備 ～

県土整備企画室

公共事業予算が減少し、社会資本の高齢化が進む中、限られた予算で必要な社会資本の整備を効率的・効果的に進めていくためには、まずは県民の皆さんに本県の社会資本整備の現状を知っていただくことが重要です。このため、県土整備部では、**岩手の社会資本整備を総合的に紹介する初めての取組**として、「**いわて社会資本フェスティバル 2010**」を平成22年11月3日(文化の日)に盛岡市のアイーナで開催しました。

本フェスティバルでは、社会資本整備についての講演会や、パネル展示、岩手・宮城内陸地震関連の映像上映、空港やダム建設現場などの現地見学会、社会資本整備の歴史を振り返る県政映画上映会などのイベントを行い、**全体で約600名の皆さんに参加**していただきました。

今後とも、このような取組を通じて、県民の皆さんに**岩手県の社会資本整備の現状や、必要性を理解**していただき、**県民参加による社会資本の整備や維持管理を進めていきたいと思います。**

## 社会資本整備についての講演会

### 「岩手県の県土整備行政の概要」

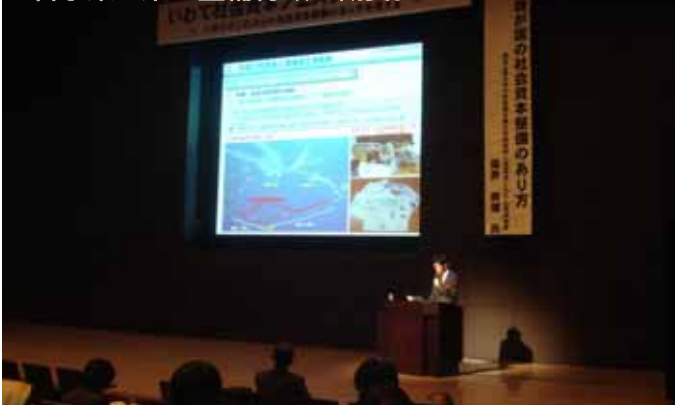
岩手県県土整備部長 平井 節生

### 基調講演「我が国の社会資本整備のあり方」

東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻教授 屋井 鉄雄 氏

#### 平井県土整備部長の説明

#### 「岩手県の県土整備行政の概要」



#### 熱心に講演を聴く参加者の皆さん



#### 屋井教授の基調講演

#### 「我が国の社会資本整備のあり方」



#### 国際競争力の維持・向上や、地域と都市の計画のしくみなど、グローバルな視点から講演していただきました



社会資本整備を学ぼう！～写真・パネル・模型等の展示～



平成 20 年岩手・宮城内陸地震からの復興の歩み  
～災害復旧の映像上映とパネル展示～



社会資本整備を身近に感じよう！～現地見学会～

Aコース いわて花巻空港見学コース



Bコース 都南浄化センター見学コース



Cコース 網取ダム見学コース

ダムの役割を聞いた後、放流を間近で体験！



ダム内部を見学、普段はなかなか入れません。

Dコース 築川ダム建設現場見学コース

付替国道9号橋の上からダム建設予定地を見学



みんなで記念撮影！

# 「先人に学び、現代に活かす」鞭牛が拓いた命の道路 今、我々の手で更なる整備を！

牧庵鞭牛和尚 生誕300周年記念『つなげよう！高速道路ネットワーク』岩手県総決起大会を開催しました  
道路建設課

東北横断自動車道釜石秋田線や三陸縦貫自動車道、八戸・久慈自動車道等の整備促進を求める岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会等関連15団体は、三陸地域の道路開削に生涯を捧げた牧庵鞭牛和尚の生誕300周年を記念し、「つなげよう！高速道路ネットワーク」岩手県総決起大会を平成22年10月28日、宮古市民文化会館で開催しました。

大会には、関係市町村、関係団体、市民など約800人が集まり、沿岸部の幹線道路の礎を築いた牧庵鞭牛和尚の功績を振り返るとともに、県内の幹線道路網の実情を住民とともに考え、多くの未整備区間が残る岩手県の道路整備の必要性を訴えました。

## 大会概要

### 挨拶・祝辞等

主催者を代表して、岩手県知事（代読・平井節生県土整備部長）が「地域の資源を生かし、地域経済を支えていく上で、道路の整備は必要不可欠であり、高速道路ネットワークの早期全線供用をめざし、みなさんの思いとともに関係機関に訴えていきたい。」と挨拶しました。また、開催市を代表して、山本正徳宮古市長が「幹線道路は地域活性化に必要不可欠なインフラである。1日も早い全線開通を求めたい。」と挨拶しました。

開催市代表挨拶を述べる山本宮古市長



続いて、来賓の佐々木一榮県議会議長（代読・小野寺研一副議長）が祝辞を述べ、早期全線開通に向け熱いエールが送られました。

### 基調講演 『三陸に道を開いた大和尚 牧庵鞭牛の素顔』（大内 豊氏）

基調講演 大内豊氏



盛岡タイムス社社長の大内豊氏が「三陸に道を開いた大和尚 牧庵鞭牛の素顔」と題して講演しました。鞭牛和尚の足跡をたどりながら、40代で道路開削に生涯を懸ける決意をし、閉伊街道など100里400キロにもわたる道を切り開いた偉業を紹介しました。大内氏は、鞭牛和尚について、「交通体系の開発が、物流の向上など地域に活力をもたらすという基本認識にたけており、260年も前にこうした視点を持っていたことは偉大である」と評価したうえで、「そして我々一人一人が現代の鞭牛として、道路ネットワークの整備促進を訴えていく」との決意も込めた講演を行いました。

### 講演 『三陸の道路今昔物語』（平井 節生 県土整備部長）

県からは、平井県土整備部長が「三陸の道路今昔物語」と題して、県政映画や記憶に新しい平成22年2月28日に発生したチリ地震による津波の映像などを交えながら、昭和30年代からの道路事情の変遷や現在の高規格幹線道路の事業箇所等を紹介しました。

講演 平井県土整備部長



## 意見発表

市民の意見発表では、(有)宮古市場運送の澤留八代表取締役、東北横断自動車道及び三陸縦貫自動車道整備促進釜石ロード女性の会の竹内敦子会長、明日を拓く宮古のみち女性の会の木村彩子監事が登壇し、道路整備に向けた取組強化を要望しました。

明日を拓く宮古のみち女性の会  
木村彩子監事



## 大会決議

いのちの道路整備促進市民会議の花坂康太郎会長が「**ミッシングリンクを解消し早期全線開通 道路整備予算の確保 社会資本整備総合交付金の十分な確保 道路事業の費用便益分析に救急医療、災害対策、地域振興の要素を加えるなど地域の実情を十分考慮し、総合的な事業評価を**」と大会決議案を読み上げ、満場の拍手でこれを承認しました。

最後に、沿線首長らが登壇し、高速道路ネットワークの早期実現の決意を込めて、出席者全員で「がんばろう」を三唱し閉会しました。



ぼくあんべんぎゅう  
『牧庵鞭牛和尚』ってどんな人？

**牧庵鞭牛(1710年～1782年)**は、宮古市和井内清水に生まれ、釜石市橋野の林宗寺の住職となり、引退後に**閉伊地方の道路開削にその半生を捧げました。**

歴史的に、北上高地の閉伊地方は、他地域に比べて開発が遅れた地域と言われており、街道は険しい難所続きの山道でした。また、この時代の盛岡藩は凶作が多く、鞭牛は、飢饉に喘ぐ農民の姿を見て、物流道路が拓かれていたならば、死ぬことはなかった命を憐れみ、供養しながら、農民を救う道路開削を決心したと言われています。

寛延3年(1750年)に最初の道路開削に着手し、釜石市橋野町から大槌町への近道となる小枝街道の道づくりを実現させました。住民らも、次第に協力するようになり、閉伊川沿いをはじめ、岩泉・宮古・山田・大槌・釜石など次々と拓かれていきました。開削にあたっては、ノミなどの基本的な道具を使用しつつも、道をふさぐ巨岩に対しては、薪で熱し冷水をかけ、脆くしてから破壊する「火焰法」と呼ばれる、当時としては画期的な方法を使用しています。

天明元年(1781年)の吉里吉里峠の改修を最後に、**73歳の生涯を閉じるまでに携わった道路の総延長は約400km**と言われています。

今回の大会では、鞭牛和尚生誕300周年を記念し、盛岡タイムス社社長大内豊氏の基調講演の他、同会場にて鞭牛和尚の功績を辿るパネル展なども開かれました。



# 遠野第二ダム試験湛水終了！！

～ 来春3月、竣工予定 ～

県南広域振興局土木部 遠野土木センター

県が遠野市で整備を進めている遠野第二ダムでは、10月13日(水)から試験湛水を開始し、10月27日(水)12時に洪水時最高水位(サーチャージ水位)に到達しました。その後、サーチャージ水位で24時間水位を保った後、平常時最高水位(常時満水位)まで水位を低下させ、11月1日(月)に試験湛水が無事終了し、堤体の安全性が確認できました。今後は、来春3月の完成を目指して、残る工事を進めていきます。

10月13日 試験湛水開始式



10月13日 仮排水路ゲート閉鎖



10月13日 試験湛水前の貯水池



10月18日 平常時最高水位到達の貯水池  
常時満水位 EL=278.10m



10月27日 洪水時最高水位到達(堤体背面)  
サーチャージ水位 EL=281.25m



10月27日 洪水時最高水位到達(貯水池)  
サーチャージ水位 EL=281.25m





## 『広い歩道 大実験!!』を実施しました!!

～ 魅力ある「まちば」の再生の促進 ～

県南広域振興局土木部 千厩土木センター

県土整備部では、今年度から『魅力ある「まちば」の再生』を支援するため、地元商店街や地域住民との協働により、道路整備と連動したまちづくりを推進しています。

千厩土木センターでは、その取組の一環として、平成22年10月25日から31日の7日間、一関市千厩町の国道456号沿いの商店街で、将来の歩道整備に向けた社会実験『広い歩道 大実験!!』を地元や一関市と協力して実施しました。

今後は、アンケート調査結果などを参考に、将来のまちづくり・道づくりの方針を「千厩まちば再生協議会」で議論していきたいと考えています。

## 【一関市千厩町のまちば再生に向けた取組の概要】

一関市千厩町のまちば再生に向けた取組として、平成21年度に地元商店街と一関市において懇談会を開催

「住むことが楽しいまち」「四季を感じられるまち」「歩いて楽しいまち」「歴史を受け継ぐまち」「賑わいのあるまち」という5つの柱を基本に、地元・一関市・県が協働しながらまちづくりに取り組んでいく『ふれあいの道づくり計画』を作成

平成22年度に、地元商店街・各種団体・一関市・県を構成員とする『千厩まちば再生協議会』を組織し、『ふれあいの道づくり計画』の実施に向けた方策を検討

平成21年度に実施したアンケートでは、商店街の中心部を通る国道456号について、「歩道が狭い」「大型車が多く、速度も速いため危険」などの問題が挙げられていたことから、国道456号の歩道を広げ、車道を狭める歩行者優先の整備の可能性を検討するため、実証実験を行ない、影響を検証

実証実験に併せて、「賑わいのあるまち」の実現に向けたイベント等の地元の取組についても協議会で企画・検討し、実証実験と同時に開催

## 歩道拡幅のイメージ



実験の様子(小学生の下校状況)



土日に開催したイベントの状況



# 主要地方道盛岡和賀線笹間バイパスが 10月28日に部分供用！！

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

県が平成14年度から花巻市で整備を進めている主要地方道盛岡和賀線笹間バイパスの一部区間が完成し、平成22年10月28日に部分供用しました（L=1,350m）。笹間バイパスは、全体延長L=6,520mのうち、平成19年3月に南側のL=3,220mを部分供用していましたが、今回の供用と合わせて、全体の約7割にあたる4,570mが完成しました。今後は、上根子橋（橋長L=165.2m）の整備などを進め、平成26年度に全線供用を予定しています。



奥山所長の挨拶



午前10時、小雨の中、部分供用開始

盛岡市



工事関係者で交通安全祈願！

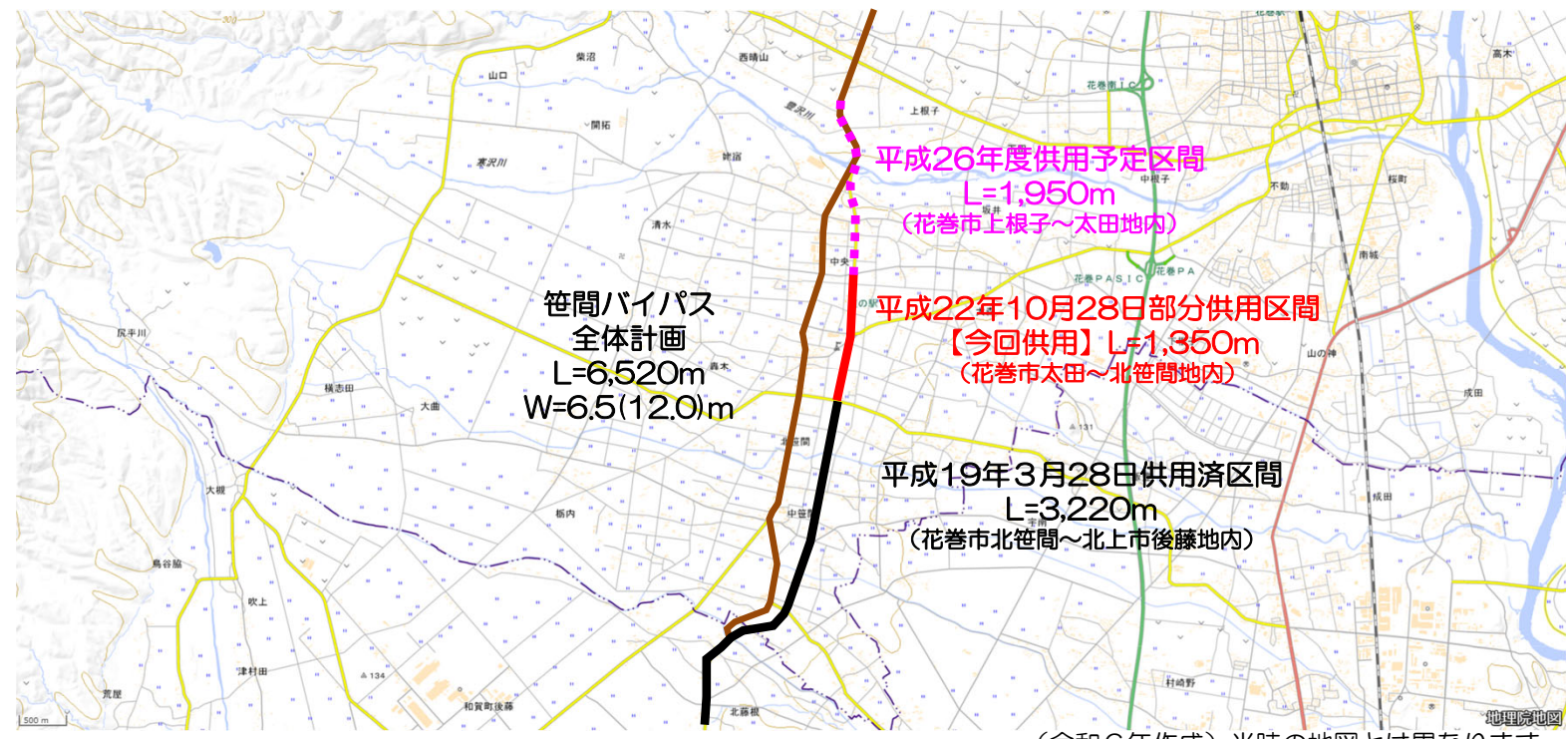


笹間バイパスの供用後の状況

北上市

事業概要図

差し替えた地図は、別ページを御覧ください



(令和6年作成) 当時の地図とは異なります

# 「100km 歩いてまた海を見よう！」の皆さんが 築川道路の工事現場を歩く！

盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所

平成 22 年 10 月 9 日（土）、「100km 歩いてまた海を見よう！」の参加者・スタッフの皆さん（小学校 5 年生～高校 2 年生 & 突破サポート隊、合計約 120 名）が、県が整備を進めている国道 106 号築川道路の工事現場を歩きました。

このイベントは、盛岡市から宮古市浄土ヶ浜までの約 100km を、少年少女たちが 3 日間かけて歩き抜くもので、昭和 60 年から通算 17 回目の開催とのことです。

参加者・スタッフの皆さんは、盛岡市川目宇曾沢地内から国道 106 号を右折し、長い上り坂が続く築川道路の 1 号工事用道路を難なく上り、3 つのトンネルと 8 つの橋で結ばれた築川道路の約 3 km を元気よく歩きました。途中、付替国道 9 号橋では、現在の国道 106 号と築川道路の高低差約 70m をご覧いただいたほか、ダムの建設予定地などを見ていただきました。

当日は不安定な天候でしたが、ほとんど雨にあたることもなく、10 月 11 日には全員そろって念願の浄土ヶ浜のゴールに到達したとのことです。皆さん、本当にお疲れ様でした。

1号工事用道路を上る皆さん(後ろは付替国道5号橋)  
皆さん声を掛け合いながら元気に上っていきました。



休憩中に築川道路を紹介。  
(付替国道1号トンネルにて)



付替国道9号橋で記念撮影



約3km歩いたところでお別れです。  
皆さん、道中気をつけて！！

築川ダム建設事務所では、ダム建設への理解を深めていただくため、随時見学を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。(TEL : 019-652-8821)

## 津付ダム付替国道1号橋下部工工事で 土木関係の高校生を対象とした現場見学会を開催しました

～ 土木工事のイメージアップへの取り組み ～

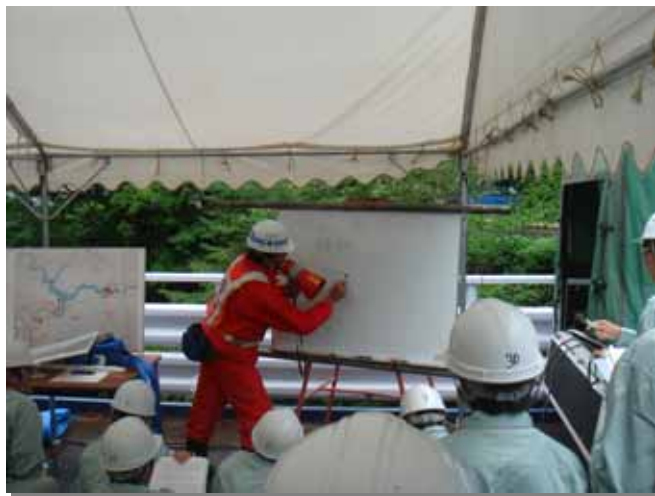
沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター  
津付ダム建設事務所

県では、気仙郡住田町において、津付ダム建設事業に伴い、平成19年度から国道397号の付替道路の工事を進めています。

そのうち、付替国道1号橋下部工工事は、平成22年9月14日に土木工事のイメージアップの取組の一環として、県立花巻農業高校の環境科学科1年生41名を対象とした、現場見学会を開催しました。

今回の現場見学会は、1号橋下部工工事を施工している高惣建設株が主催したもので、土木関係の高校生を対象としているため「生コンクリートの現場試験の体験」や「鉄筋圧接工の技量試験見学」などの専門技術を実際に体験していただきました。

参加した高校生からは、「貴重な体験だった」、「これからの勉強に生かせる」などの声が聞こえ、現場見学会に満足している様子でした。今後とも、このような現場見学会などを通じて、津付ダム建設事業の重要性、必要性などの説明に努めていきます。



請負者現場担当者が、熱血指導しました！



コンクリートの現場試験を実体験！見学している生徒の目も真剣です。

津付ダム建設事務所では、付替国道工事について学校等団体での現場見学の希望があった場合に現場見学会を開催しています。現場の見学を希望する場合は、安全対策に万全を期す必要があるため、事前に津付ダム建設事務所にお問い合わせ願います。

【問い合わせ】

津付ダム建設事務所 TEL：0192-22-8182

津付ダム建設事務所のHP <http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/>

津付ダム付替国道（津付道路）HP <http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/tuduki-road/>

# いわて公共建築

## フォーラム2010

～もっと身近に公共建築～

### 「公共建築と リノベーション」

もりおか歴史文化館

建築住宅課

日時:平成 **22** 年 **11** 月 **16** 日(火)

13:15～16:15

場所:盛岡市観光文化交流センター

プラザおでって3階 おでってホール



入場無料  
(当日参加可)

#### + パネル展示

岩手県公共建築設計監理協会会員作品展  
わがまちの誇れる公共建築写真展  
東北地方整備局盛岡営繕事務所作品紹介

主催:岩手県/(社)岩手県公共建築設計監理協会

後援:国土交通省東北地方整備局

(社)岩手県建築士事務所協会

(社)岩手県建築士会

(社)日本建築家協会東北支部岩手地域会

(株)日刊岩手建設工業新聞社

お問合せ:岩手県国土整備部建築住宅課営繕担当

TEL 019-629-5955

(社)岩手県公共建築設計監理協会

TEL 019-623-3681

#### <プログラム>

+ 開会 13:15

+ 第一部 13:20～14:20

講演)(仮称)「公共建築における

リノベーションの可能性」

講師:馬場 正尊 (株)オープン・エー代表

( 休憩 14:20～14:30 )

+ 第二部 14:30～16:00

#### パネルディスカッション

コーディネーター

倉原 宗孝 岩手県立大学教授

パネリスト

藤島 裕久 盛岡市都市整備部次長兼都市計画課長

渡辺 敏男 (有)盛岡設計同人代表

馬場 正尊 (株)オープン・エー代表

参加申込み(事前登録にご協力をお願い致します)

(社)岩手県公共建築設計監理協会行 FAX:019-623-3647

氏名	市町村名又は勤務先	備考

## 県民ゴルフ場 11月からの特別料金のご紹介！！

都市計画課

県民ゴルフ場は 11 月からさらにご利用しやすい料金となります。冬の足音も聞こえてきましたが、雪のシーズン前、ご家族・ご友人とゴルフを楽しんでみてはいかがでしょうか？

**県民ゴルフ場は積雪によるクローズまで営業**します。たくさんの皆さまのご利用をお待ちしています。

### 11月からの特別料金 (18H、手動カート・利用税・保険込)

	一般	60～64歳	65～69歳	小学生 中学生	高校生
平日	3,000円	2,500円	1,800円	100円	600円
土日祝	4,000円	3,500円	2,800円	1,100円	1,600円

電動カート使用料は別途料金となります。



詳しくは、県民ゴルフ場までお問い合わせください。

【TEL】 0198-27-3280

【HP】 <http://www.echna.ne.jp/~suposhin/>

# 第7回土木合同セミナー

## ～盛岡広域の景観を考える～

盛岡広域振興局土木部

**開催日時** 平成22年12月1日(水) 14時から

**会場** 岩手県産業会館7階大ホール  
(盛岡市大通1丁目2-1)

### プログラム

**主催者挨拶** 14:00

**第1部 基調講演** 14:10～15:10

演題 「景観の育て方：盛岡市の30年間の取組みを参考に」

講師 浦口 醇二 氏 (株)カワシエイツ代表

**第2部 パネルディスカッション** 15:20～17:00

コーディネーター：三宅 諭 氏 岩手大学農学部准教授

パネリスト：浦口 醇二 氏 (株)カワシエイツ代表

同上：大森 典子 氏 岩手山麓柳沢広域景観形成住民協定者会事務局

同上：藤島 裕久 氏 盛岡市都市整備部次長兼都市計画課長

申込期限：平成22年11月24日

申込方法：FAX又はメールで、会社名、所属、氏名等をご連絡ください。

**主催：土木合同セミナー実行委員会**

盛岡広域振興局土木部	(社)	岩手県建設業協会盛岡支部
(株)日刊岩手建設工業新聞社	(財)	岩手県土木技術振興協会
(社)岩手県土木技術センター	(社)	岩手県測量設計業協会

事務局：盛岡広域振興局土木部 長坂、菅原、藤原

TEL：019-629-6636 Fax：019-652-6924

E-mail：BA0006@pref.iwate.jp



明日を担う若手職員を紹介します！

No.7 建築住宅課 技師 及川達也さん

美しい県づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第7回は、**県庁建築住宅課の及川技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成15年度入庁

宮古地方振興局土木部(現 宮古土木センター)にて主に建築指導業務を担当

(現在) 建築住宅課 5年目

県庁に来て3年間は建築指導担当で、建築士法・宅地建物取引業法関連業務、住宅・建築物の耐震対策について担当し、現在は、住宅担当で岩手型住宅の普及や住宅に関する制度の周知等の業務を行っています。



建築家とかデザイナー風に白黒写真にしてみました。視線を外す人も多いですね。ちなみに、背景は自宅のカーテンです。

Q2 仕事の面白いところは何ですか？

私の業務は、県内の住宅事業者さんと接する機会が多いので、県内事業者さんがどんな住宅づくりをしているのか知ることができます。また、他の部署と関連する業務もあり、様々な情報を得ることができ、とても勉強になります。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

いろいろな情報が私のところに入ってきますが、この情報をどのようにアウトプットしていけばいいのかわからないと悩ませます。事業者向けであれば、各団体経由である程度周知できますが、県民の皆様向けの場合が問題です。大々的に広告を出せばいいのですが、予算上の制約などからそうもいかないのが、ホームページや県の広報への掲載などを行っていますが、どれだけ県民の皆様が届いているのか…。この点が難しいところです。

Q4 どんな職場ですか？

私が所属する建築住宅課は、建築確認・許可、住宅・建築物の耐震対策、ユニバーサルデザインの推進、県営住宅の整備・管理、岩手型住宅の普及、建築士法・宅建業法に基づく登録・指導、県営施設的设计・工事監理など幅広い業務を行っていますが、経験豊富な職員も多いので、何かあっても誰かしら相談に乗ってもらえます。

Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

これから家を建てる時は、ぜひ「岩手型住宅」の建設をご検討ください!! 今なら、県産材を使った住宅の新築・増改築に対する補助もありますよ!!

岩手型住宅

